

重要取組シート

産業振興局 商工労働部
ものづくり支援課

取組項目	中小企業の経営基盤の強化
現状・課題	【現状】 ○本市には、「技術力や製造精度」や「短納期対応」、「小ロット・試作対応」等の強みを持つ、高い技術を有するものづくり中小企業が多く集積している。 ○一方で、中長期的な最大の課題として「後継者の確保・育成」や「従業員の確保」が上位に上がっており、多くの中小企業で経営者の高齢化が進むとともに、人材の確保にも懸念を抱いている。 ○こうした中、新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動に甚大な影響が出ている。 【課題】 ○戦後最大とも言うべき経済危機に直面する中、国・府の支援策を広く周知するとともに、経済情勢や事業者ニーズを的確に把握しつつ、資金繰り対策や事業活動の継続に向けた本市独自の支援策を速やかに企画・立案し、市内中小企業の支援に努める必要がある。 ○本市産業が持続的に発展するためには、高度な製品技術開発や成長産業への挑戦、製品・商品の付加価値向上など中小企業の「稼ぐ力」の向上や後継者への事業承継等について、産業支援機関と連携しながら、きめ細かな支援に取り組む必要がある。 ○生産年齢人口が減少し、中小企業においては人材の確保が課題となる中、既存の製造工程や業務プロセスの効率化・安定化を図ることにより、生産性を向上させる必要がある。
取組みの内容	新型コロナウイルス対策の観点を加え、下記事業に取り組む。 ○新型コロナウイルス感染症関連の資金繰り対策として、金融相談窓口の体制強化を図るとともに、国・府の支援策を補完する保証料助成制度を実施する。 ○堺市テレワーク導入支援補助金を創設し、中小企業のテレワーク導入を支援する。 ○産業振興センターが実施する経営相談事業やマッチングコーディネート事業、セミナー開催等の各種支援施策について、継続性を担保すべくオンラインを活用した開催方式を導入する。 ○「堺スタイル」に対応したビジネスモデルへの転換を促進するための支援策を実施する。 ○IoTやAIなどの先端技術の導入を支援する「スマートものづくり導入支援補助制度」において、新たにロボット導入による製造・業務プロセスの自動化を支援する。 ○中小企業の製品・技術の高付加価値化や、新分野進出の円滑化に資することを目的として、新たなものづくりにチャレンジする経費に対する補助を実施する。 ○産業振興センターのコーディネーターによる研究開発分野を中心とした技術開発のハンズオン支援や、市内中小企業と大手企業とのマッチング支援等を実施する。
スケジュール	前期 (～7月) □ 金融相談窓口の体制強化による処理の迅速化(4月) □ 堺市新型コロナウイルス感染症対策保証料助成制度の創設(4月) □ 堺市テレワーク導入支援補助金の創設(4月) □ 産業振興センターが実施する経営相談事業やマッチングコーディネート事業、セミナー開催等の各種支援施策におけるオンライン手法の導入(4月) □ 堺市ものづくり新事業チャレンジ補助金の募集期間を延長(～6月) □ 堺市スマートものづくり導入支援補助制度の公募(随時) □ 産業振興センターのコーディネーターによる研究開発分野を中心とした技術開発のハンズオン支援や、市内中小企業と大手企業とのマッチング支援等を実施(随時)

(様式4)

	中期 (～11月)	☐ 新型コロナウイルス感染症の影響や経済活動の回復状況を踏まえた支援施策(適宜) ☐ 「堺スタイル」に対応したビジネスに関するセミナー開催(8月) ☐ 堺市ものづくり新事業チャレンジ補助金採択企業の決定(8月) ☐ 堺市テレワーク導入支援補助金申請企業へのフォローアップ支援(随時) ☐ 堺市スマートものづくり導入支援補助制度の公募(随時) ☐ 産業振興センターのコーディネーターによる研究開発分野を中心とした技術開発のハンズオン支援や、市内中小企業と大手企業とのマッチング支援等を実施(随時)
	後期 (～3月)	☐ 新型コロナウイルス感染症の影響や経済活動の回復状況を踏まえた支援施策(適宜) ☐ 堺市テレワーク導入支援補助金申請企業へのフォローアップ支援(随時) ☐ 堺市スマートものづくり導入支援補助制度の公募(随時) ☐ 産業振興センターのコーディネーターによる研究開発分野を中心とした技術開発のハンズオン支援や、市内中小企業と大手企業とのマッチング支援等を実施(随時)
	次年度 以降	☐ 新型コロナウイルス感染症の影響や経済活動の回復状況を踏まえた支援施策の実施 ☐ 高度な製品技術開発や成長産業への挑戦、製品・商品の付加価値向上など中小企業の「稼ぐ力」の向上に資する施策の実施 ☐ 既存の製造工程や業務プロセスの効率化・安定化など、生産性の向上に資する施策の実施 ☐ 産業振興センターによるきめ細かな各種経営支援策の実施